

ふるさとふちゅう

【第8回】西国街道を歩いてみませんか(4)

再発見

『芸藩通志』府中村図では船越村側を「杉ヶ原」、府中村に入り向かって右側が大谷山、左側に「建鹿籠山」と記しています。「建」とは「御建山」のことで、広島藩の管理下にあった保護林



府中町都市計画図に筆者加筆 (点線が西国街道)



『芸藩通志』府中村図に筆者が加筆

です。鹿籠山は現在の柳ヶ丘団地です。その谷間を西国街道は通っていました。図の▲が現船越峠、●はマンションが建つ高台です。現在、海田から船越峠までの県道は狭く曲がりくねった道で車が離合するのも難しい状態です。船越峠を越えると片道2車線の広い道になり、左の崖に沿った道は緩やかな左カーブです。まさに『芸藩通志』府中村図の鹿籠山の麓に沿った道です。県道は崖を削って拡張しているのが江戸時代の西国街道はもっと緩やかなカーブだったでしょう。街道はカーブを曲がって最初の信号を過ぎ、永田バス停の手前を斜め左に入る小道を歩きます。

この辺りを『芸藩通志』府中村図では「ヒクニ峠」と記されているのが分かりますね。『芸藩通志』や前回で紹介した『行程記』でも「比丘尼峠、比丘尼坂」と記されています。前回説明したように峠はたわ、で坂道ということでしょう。正徳2(1712)年の『安芸郡府中村寺社堂古跡帳(府中町史第2巻)』には「ひくに切坂と申すたを(峠)住還筋こもり(鹿籠)の御立山(御建山)のしたに御座候。ひくに之塚と申す墓御座候、先年此所二而びくに切りころし(殺もつす)にすなわ(し)申二則ち墓に築申すと申伝候、外に何之申し伝えも無御座候、但田の中に御座候」とあります。どのような事情かは分かりませんが、比丘尼(尼僧)が切り殺され、墓を作ったという悲しい話があったのでしよう。現在その墓は確認できませんが、この辺りが村はずれの山懐で、寂しい場所であったことがうかがえる話です。

府中町文化財保護審議会委員
菅 信博

パッとカンタン!

朝パッ君のかんたんレシピ

問朝パッ君ネットワーク
(事務局 健康推進課内)
☎286-3257

野菜ジュース入りホットケーキ



レシピ提供：認定こども園つばめ

材料

- ・ホットケーキミックス：1袋
- ・野菜ジュース：ホットケーキミックスの袋に記載しているレシピで使用する牛乳と同量
※野菜のすりおろしを加えても!
- ・卵：1個

作り方

- ①ボウルに卵と野菜ジュースを入れて混ぜる
- ②①にホットケーキミックスを加えて軽く混ぜる
- ③中火に熱したフライパンで両面を焼く

おやつや朝食に
おすすめ!

